

1年 1.2学期【算数】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. なかまづくりと かず	○10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。	○数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、一つの数をほかの2つの数の和や差として捉え言葉や半具体物などを用いて表現したりしている。	○数の比べ方や数え方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2. なんばんめ	○数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。	○数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。	○数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3. あわせていくつ ふえるといくつ	○合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が10以内の加法計算が確実にできる。	○加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	○加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
4. のこりはいくつ ちがいはいくつ	○求残や求補、求差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が10以内の減法計算が確実にできる。	○減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	○減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
5. どちらがながい	○長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べることができる。	○身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。	○身の回りにあるものの長さに関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

6. わかりやすく せいりしよう	○ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。	○データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。	○簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
7. 10より おおきい かず	○40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数字を読んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	○10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりがない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	○数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
8. なんじ なんじはん	○何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	○短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。	○時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
9. 3つの かずの けいさん	○3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。	○2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。	○3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
10. どちらが おおい	○体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。	○身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。	○身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
11. たしざん	○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	○10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	○1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

12. かたちあそび	○身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。	○身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。	○身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
13. ひきざん	○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	○数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。